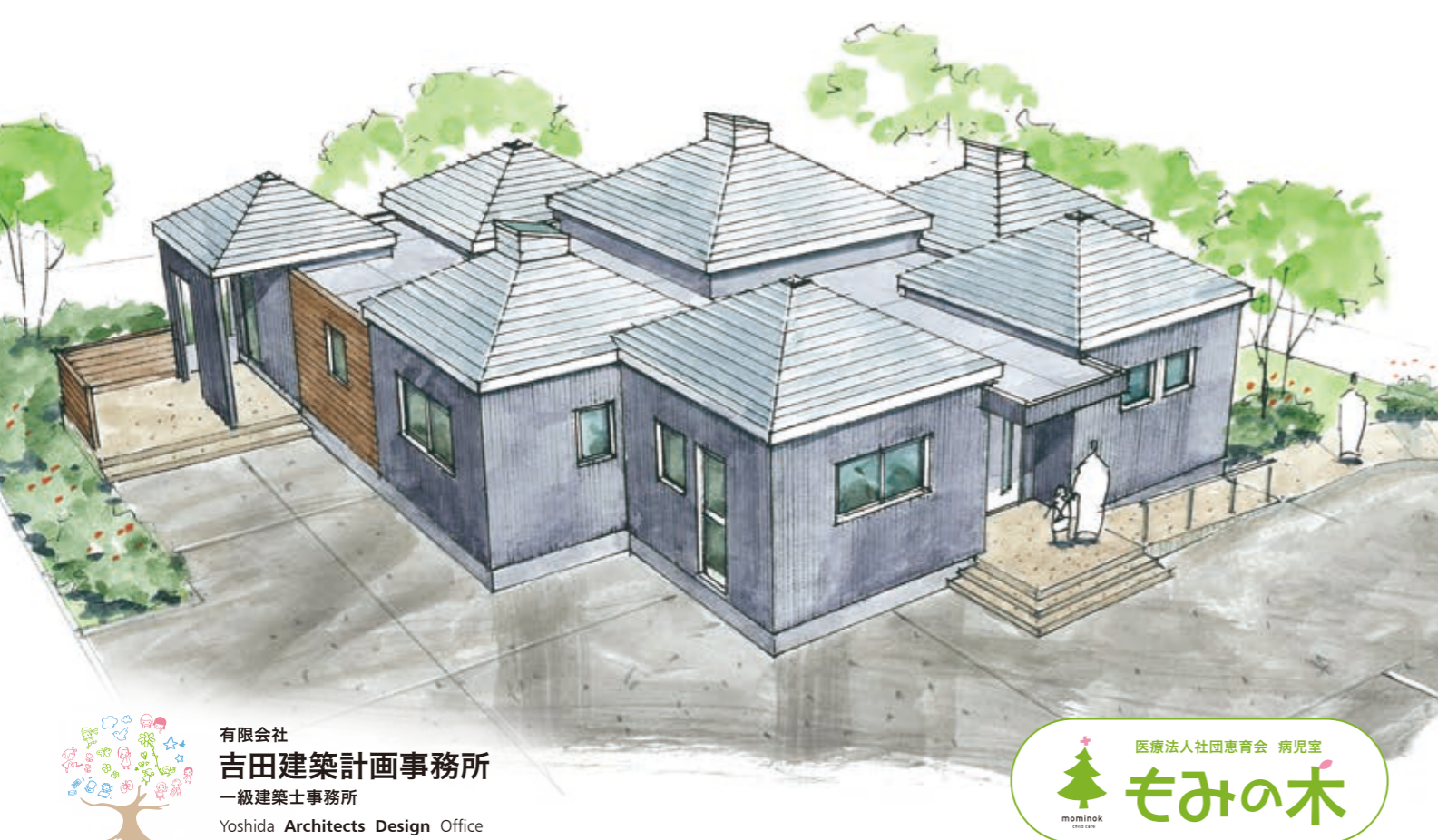


YOSHIKEN NEWS

ヨシケンニュース

vol.10

特集：病児保育園

ひとりひとりを
看守る保育医療法人社団 恵育会
病児室「もみの木」新築工事

有限会社
吉田建築計画事務所
一級建築士事務所
Yoshida Architects Design Office



医療法人社団恵育会 病児室

Voice:

木のやさしさに
つつまれて病児室「もみの木」
園長 内田 みち子

園舎を建てるにあたり、かねがねご御高名をうかがっていた吉田先生にお会いしました。初対面で、その誠実なお人柄と仕事にかけける思いやエネルギーを強く感じました。とりわけ天然木を使った建物に対する知識の高さ、思いの深さを知り、私どもは木材に対する認識をすっかり新たにされました。

木の持つぬくもりややさし。香りの中で病児のお世話をしたいと痛切に思ったのです。今、建物は完成し、玄関のドアを開けると一瞬にやさしい木の香りに包まれます。病気で学校や保育園をお休みした子ども達はここで一日を過ごします。

との接触なく過ごす事の出来る隔離室も作って頂きました。吉田先生ならではの細かいご配慮・子ども達の心にも思いを致してくださいました。静かで木の香りいっぱいな森の雰囲気さながらの空間に鳩時計がやさしく時を刻みます。吉田先生の思いの詰まったこの施設に、先生への敬意と感謝の意をこめて「病児室もみの木」と名付けました。森の中の大きな木、その枝葉に、沢山の生命を育み木かげには人が憩う。そのようなイメージを心に抱きながら、温かな心通う良い保育をして参りたいと思っています。

病気の子一時預かり

鹿嶋市 生後6カ月从小3



施設はふんだんに木材が使われ室内も明るい。看護

「もみの木」開設のニュースが茨城新聞に掲載されました。

どの部屋にも光が降りそそぎ、風が通り抜けます。空間の仕切りに設けた大きな窓で、各部屋には目が行き届きます。



車イス対応型玄関

建築データ

工事名称／病児室「もみの木」新築工事
事業主／医療法人社団 恵育会
所在地／茨城県鹿嶋市大船津 3164
用途地域／未指定（市街化調整区域）
敷地面積／953.54㎡（288.45坪）
建築面積／134.77㎡（40.77坪）
延床面積／129.44㎡（39.16坪）
構造・用途／木造平屋建て・病児保育所
竣工／2017年3月

病児保育園とは

保護者が仕事や家庭の都合などやむを得ない状況で、病気になった子どものそばについてられない際、保護者の代わりに看護師、保育士が一時的に保育を請け負います。

※対象児童

- 生後6ヶ月から小学校3年生までの児童のうち
①病気やけがで入院治療の必要はないが、集団保育が困難で安静を必要とする児童
②かかりつけ医が利用可能と判断した病気の児童

■無料相談会のご案内（要予約）

㈲吉田建築計画事務所では子供にやさしい病児保育園づくりをお手伝いいたします。病児保育園等の新築・増築・改築にあたり建築デザインをはじめ、建設コスト、補助金申請、手続きの流れ等に関するご相談、ご質問などお気軽にご相談下さい。

平日：午前 9:00 ～ 午後 6:00
土・日・祝日、平日夜間は事前に御連絡を頂ければ御対応いたします。

相談日



有限会社
吉田建築計画事務所
一級建築士事務所

お電話

0120-922-416

ファックス

0299-56-3248

メールアドレス

info@iezukuri.co.jp

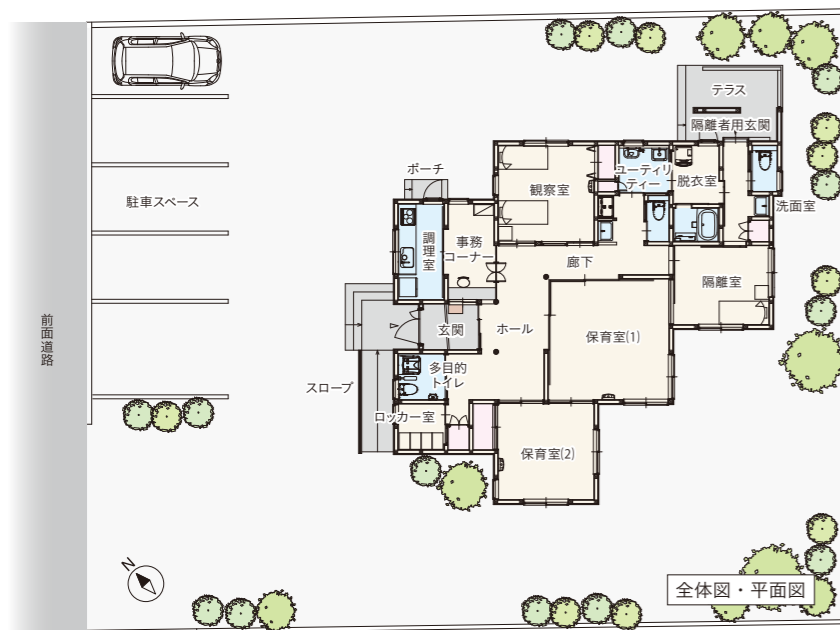
吉田建築計画事務所

詳しくは HP をご覧ください

本社：〒315-0001 茨城県石岡市石岡 1-1-8 TEL.0299-56-3246 / つくば事務所：〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6 TEL.029-854-0203



- 1 / 建物正面。小さな屋根が幾重にも重なり合うようなリズムカルなデザイン。子どもたちが中を覗き込みたくなる外観としました。
- 2 / 高い天井と木質感溢れる保育室。トップライトからは明るい光が降り注ぎます。素足でも気持ちの良い無垢フローリングを使用。
- 3 / 保育室とホール。無垢の木と自然素材による素朴な雰囲気。壁はぶつかっても安心な柔らかい木材を使用。
- 4・5 / 隔離室と隣接する専用洗面室とトイレ。奥に見える専用玄関から直接出入りが可能。
- 6 / 受付・事務コーナーは保育室等に見渡しが利くよう配置。玄関と窓で繋がりが受付もスムーズ。



康的な環境を創出しました。保育室の他には、主に乳児を対象とした観察室、インフルエンザなどの感染防止を目的とした隔離室があります。ここは、玄関、トイレ、洗面室を専用としています。

また、先生方との意見交換を通して受け入れる子どもの人数や症状が異なる特性に対応できるよう、効率の良い間取りと、引き戸を多用した可変性のある空間を提案しました。この引き戸には大きな窓を設け、子ども達の様子が保育者の目に届くよう配慮しています。



建物東側



吉田建築計画事務所 所長 吉田 良一

一級建築士。1967年 東京都生まれ。マトリックス都市建築設計事務所を経て、1993年 吉田建築計画事務所設立。

ひとりひとりを 看守る保育

医療法人社団 恵育会
病児室「もみの木」新築工事
茨城県鹿嶋市

体調が優れない子どもにとって、家族と離れて過ごすことは想像以上に不安とストレスを抱え、保護者にとっても、それは同様であると思います。しかし、仕事や家庭の都合で、どうしても子どものそばについてあげられない状況は起こり得ます。そのような中で、子どもの不安を少しでも無くすことが出来る園舎づくりを基本的な考え方として、設計をスタートしました。

外観は子どもたちが「あそこへ行ってみよう」と思えるよう、家庭の温かさを感じられるような、小さな家並みの連なりをイメージさせるリズムミカルなデザインを考えました。

建物の内部は、無垢の木をふんだんに用いて、手触りや足触りのやさしさと精神的な安定感を考慮し、回復期の子どもが心地よく過ごせるものとなりました。

高い天井によって、広がりを持たせた保育室にはトップライトを設え、明るい陽の光が降り注ぐ健



右 / 保育室。引き戸の開け閉めで部屋の大きさを調整できる。引き戸を開ければホールと一体となり広々した空間に。

左 / 観察室。無垢材は素肌で触ると柔らかく温かく、優しさを感じます。木の香りや視覚効果は気持ちをリラックスさせ、情緒を安定させる効果があります。